

事業所名

コロニー児童デイサービスとみぐすく発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		沖縄コロニーは、結核回復者が結成した「沖縄療友会」が当法人の前身であり、利用者第一優先を基本理念に、時代のニーズに合わせて、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉に取り組んできました。これからも、「利用者のしあわせ」「職員のしあわせ」「地域社会のしあわせ」の3つのしあわせの実現を目指して、福祉と医療の連携を図り、新しい福祉の創造に挑戦します。						
支援方針		①児童が明るく楽しく過ごせるよう、居心地の良い場所づくりを目指します。 ②発達支援や療育的活動（遊び、運動等）を通して、児童の成長・発達を促せるよう、支援計画に沿って支援します。 ③保護者が抱える育児不安や育児負担を軽減し、保護者が安心して子育てを行えるよう支援します。						
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
		項 目			ねらい			
本人支援	健康・生活	・健康チェック、手洗い、歯磨き ・身辺自立 ・片づけ ・給食、おやつ ・タイムスケジュールの理解 ・季節の製作、体験活動 等			・病気の予防と機嫌よく療育支援が受けられること、突飛な体調不良時にも家族と連携して安心して過ごせる場所となる。 ・発達段階に合わせた食事、排泄、衣類の脱ぎ着などの身辺自立支援をすることでできることを増やす。 ・遊びや活動を通して片付けする機会を作り片付けが定着できるようになる。 ・管理栄養士によるバランスのとれた食事の提供と発達段階や嚥下機能の状況に合わせた食事の提供。また苦手な食べ物が食べれるようになることを目指す。 ・集団で活動すること、自由に自分の時間を楽しむ時間を知り、一日のタイムスケジュールの理解を深める。見透しが立てられることで精神的安定と、切り替えことを身に着ける。 ・制作活動、体験活動を通して、季節感を知ったり、公共のルールを習得できるように目指す。			
	運動・感覚	運動あそび・公園・水遊び・体操教室(外部講師)・リトミック(外部講師)等			いろいろな体の動きの習得と体幹機能の向上、手順を言葉または視覚で理解する、順番を守る、力の出し入れの仕方について学びながら自分の体についても知る。達成感から自信をつけ次のチャレンジに繋げていけるようになる。 障害特性の状況によっては、施設内PT・OT・STから助言をもらい個々に合わせた支援を行うことで運動・感覚の向上を図る。			
	認知・行動	知育玩具・プリント学習・iPad学習等			それぞれの発達段階、特性に合わせた(鉛筆を持つ練習する子、スプーンで物をすくう練習、マッチングなど)内容で楽しみながら学習を行う。また、危険認知を高めるため、絵本や絵カード、模擬体験を通して理解を深める。			
	言語 コミュニケーション	しゃぼん玉・風船・歯磨き・おやつ等			口腔内の動きの強化(吹く、ふくらます、吸う、唇・舌の動き、呼吸の仕方など)を図る。また、専門職専従配置はないが、週2回の言語訓練士による言語訓練と言語訓練士助言の元、日常会話から個々の状況に合わせた言語発達活動を取り入れて言葉の発達を促す。			
	人間関係 社会性	自由遊び スペシャルタイム(自分の好きな遊びをする) 社会科見学等			1人遊びからお友達と関わる遊びへの発展の仕方、声かけ(遊びのルール習得)、遊びの種類が増えることで多様性を理解していく。スペシャルタイムでは、自分で何をしたいのか?お友達と遊びたいのか?など意見をjする場面を与えて周りとの協調性を高める。 社会科見学を通して色々なことを体験し、不安が減ることで色々なことにチャレンジ、興味を示しながら公共ルールの習得を目指す。			
家族支援		子供との関わり方や進級、入学についての助言相談・夏祭り・クリスマス会・ゆんたく会などの交流イベント等の実施			移行支援		関係機関との情報交換 入園・入学・進級に向けた関係等	
地域支援・地域連携		地域コミュニティ行事への参加 近隣事業所・学童交流会等			職員の質の向上		職場内外研修の実施 今年度実施研修 虐待・身体拘束防止 防災研修 救命法講習会 ペアトレ研修 感覚統合	
主な行事等		乗り物乗車体験(年4回程度) お買い物体験(毎月) 遠足(年4回程度) 外食体験 夏祭り(8月頃) じゃかいかも植え(10月頃)収穫(2月頃) ハロウィンパーティ(地域学童交流) 社会見学(年2回程度) クリスマスパーティ 初詣 合同餅つき 節分 卒所式 家族会(5月頃) ゆんたく会(年3回程度) エイブルアート展(豊見城市)出展						

※本人支援については、『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』の5領域を重複して実施する支援プログラムもあります。詳細は、別紙をご覧ください。